

最新標準

中日文對照
原文標音
字句註釋
文法分析

日本語讀本

謝新發編譯
趙長年校訂

正文書局印行

第四冊



- 本書是最具權威的日本語讀本；
- 本書是國人學習日本語的惟一利器；
- 本書為日本國際學友會採用的日本語教本；
- 本書在日本擁有一百一十七萬讀者，已發行第十版。

S

013162

H36
8810
4

謝新發編著

最新標準日本語

讀本



S9007947

正文出版社印行

石景宜先生贈書

年 月 日

最新標準日本語讀本（四冊）目次

第一課 太陽——太陽……………一

第二課 お正月——元旦……………一〇

第三課 友だち——朋友……………一九

第四課 水産業——水産業……………二四

第五課 だるま——達摩……………三二

第六課 やしの実——椰子……………五九

第七課 日本の政治——日本の政治……………六三

第八課 音——聲音……………六八

第九課 鑛業——礦業……………七三

第一〇課 新聞記事——新聞記事……………八一

第一一課 入学試験——入學考試……………一二〇

第十二課	日本の教育制度——日本の教育制度……	一三七
第十三課	送別会——歡送會……	一四四
第十四課	一留學生の見た日本——一個留學生眼中的日本……	一五三
附錄	日語文法表解……	一六五

皇族御筆日本語彙本（四冊）目次

第一課 太陽

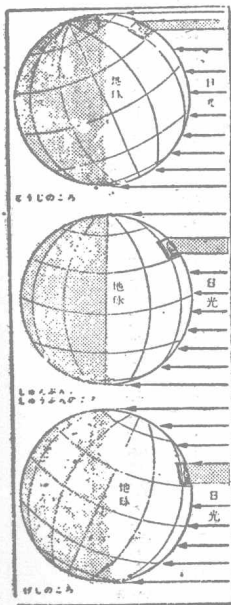
暑い、暑いと言つて、シャツ①一枚になつたりした夏が過ぎるとこんど②はだんだん寒くなつて、草も木も葉が枯れ落ち、家々では火ばち③に火を入れたり、ストーブ④をたいたりするようになります。われわれをとりまく氣候が、こんなに変わるのは、地球が絶えず⑤太陽の回りを回るためで、そのとき地球の回転の軸が傾いて⑥いるので、大部分の地方では、太陽の光の強なる⑦角度が変わつてきて、地球の受ける熱量がふえたり、減つたりするからです。赤道地帯⑧のように、太陽の光線がねんじゆう⑨地面に垂直にさす所は、いつ⑩も暑いばかりで、氣候の変化はありませんが、北極や南極のように、太陽の光が、小さい角度で地面に当たる所は、いつでも非常に寒く、冬の間は数か月暗やみが続くこともあります。

そのわけは、図に示したとおり、遠くから来る太陽の光線は、ほとんど平行線とみなして⑩も、さじつかえ⑪ありません。その光線の一部がA——Bのように、光線に垂直な

面へ当たるときも、 $A-B$ のような斜面に当たるときも、光線の分量は同じです。しかし、 $A-B$ 面は $A-B$ 面より面積が広いのですから、 $A-B$ 面の各部分の受ける熱量は、 $A-B$ 面の各部分よりずっと少なくなります。その $A-B$ がだんだん傾斜を伸ばして⑫、太陽の光線と平行に近づくほど、各部分の受ける熱量が減ります。

地球上では、赤道地帯はだいたい⑬いつも $A-B$ のような位置にあるので、熱帯になり、両極は $A-B$ のように太陽の光を受けるために、寒帯になるのです。赤道以外の所では、地球の公転のために、太陽の光線の角度が変わるので、気候に変化が起こるのです。その地球の公転運動がいつも一定の時間に正しく行なわれるので、一年のうち春・夏・秋・冬が規則正しく⑭めぐって⑮来るのです。

このように、太陽は地球に対して熱帯・寒帯をつくったり、四季の変化を起こしたりするだけでなく、地球面



の水を蒸発させて雲をつくったり、雨や雪を降らせたり、高気圧や低気圧を起こして、風を吹かせたりします。ですから、もし^⑮太陽がないと仮定したら、帆船を走らせる風も無く、水はみんな氷になったまゝ^⑰とけない^⑱し、草も木も枯れてしまい、動物はみんな生存していることができなくなってしまう。われわれがふだん^⑲利用している石炭も石油もガスも電気も、そのもと^⑳をたずね^㉑ると、一つとして、太陽のおかげ^㉒によらない^㉓物はありません。人間が昔から万物に生命を与えるこの太陽を崇拜していたのも、ぐうぜん^㉔ではありません。

太陽は直径が百三十九万キロメートルもある、非常に大きな燃えたっている固まり^㉕で、表面は六千度もある高温のガスで包まれています。この太陽の熱と光とを受けて、地球にはいろいろなことが起こるのです。地球が受ける熱量は、太陽全体が絶えず放っている熱と光の量のたった^㉖二十億分の一ぐらいだといえますから、驚くではありませんか。そんなに大きな太陽が、われわれの目に大体月と同じに見えるのは、地球から一億五千万キロメートルという非常に遠い距離にあるからで、月への距離の約四百倍

です。

太陽の回りを地球が回り、地球の回りを月が回っているのです、この三つの位置の關係から、太陽の光が地球や月に妨げられる②ことがあります。地球も月も自分で光を出すのではなく、いずれ③も太陽の光を受けて反射しているのですが、その地球が太陽と月との間に来ると、月の表面に地球の影がうつつて④、月食⑤となり、また月が太陽と地球との間に来ると、太陽が月にかくされて⑥、日食になります。

この日食や月食を原始人や未開人は非常に恐れましたが、われわれ文明人は、そんなことをおわがらないばかりか、日食や月食が何月何日に起こるかということまで、はっきり⑦予測することができます。

日食のときには、ふだん見えない太陽の周囲の様子がよく見えるので、太陽の研究をするのに、たいそうつごうがよいので、それで日食があると、多くの天文学者が競って⑧観測に出かけます。

太陽のときはじめ⑨が、われわれには数えることのできない⑩ほど、遠い遠い昔であ

つたと同じように、もしその終わり³⁶があるとしても、われわれには数えることができないほど、遠い将来のことでしょう。けつきよく³⁷、われわれ人類が生きている間は、太陽は絶えず輝いて、動植物にも生命と活動とを与える³⁸ことは疑いありません。

【註 釋】

(少年少女科学理科学編による)

- ① 【シャツ：シャツ—襯衫—外來語。】
- ② 【こんど：今度—這一回兒。】
- ③ 【ひばち：火鉢—火盆。】
- ④ 【ストーブ：ストーブ—火爐。】
- ⑤ 【たえず：絶えず—不斷。】
- ⑥ 【かたむいて：傾いて—傾斜。】
- ⑦ 【あたる：当たる—照耀、照射。】
- ⑧ 【ねんじゅう：年中—一年當中、一年到頭。】
- ⑨ 【いつ：何時—始終。】
- ⑩ 【みなして：見なして—看做。】
- ⑪ 【さしつかえ：差し支え—(沒有)關係。】
- ⑫ 【のばして：伸ばして—延長、延伸。】
- ⑬ 【だいたい：大体—大體上、大概。】
- ⑭ 【きそく：きそく—規則正しく—有規則。】
- ⑮ 【めぐって：廻って—循環。】
- ⑯ 【もし：若し—假如。】

- ⑰ 【まま：儘—依舊。】
- ⑱ 【とけない：融けない—不融化。】
- ⑲ 【ふだん：ふだん—平常。】
- ⑳ 【もと：素—來源。】
- ㉑ 【たずねる：尋ねる—探尋。】
- ㉒ 【おかげ：お蔭—庇佑、保佑、託……福。】
- ㉓ 【よらない：依らない—憑恃、仗恃。】
- ㉔ 【ぐうぜん：偶然—偶然。】
- ㉕ 【かたまり：固まり—固體、塊。】
- ㉖ 【たった：たった—只有。】
- ㉗ 【さまたげられる：妨げられる—妨礙。】
- ㉘ 【いずれ：いずれ—任何一個。】
- ㉙ 【うつて：映って—映照。】
- ㉚ 【げっしょく：月食—月蝕。】
- ㉛ 【かくされて：隠されて—隱蔽。】
- ㉜ 【はつきり：はつきり—明顯、明確、清楚。】

- ③③【きそつて：競つて—爭先恐後。】
 ③④【ではじめ：出来始め—創始。】
 ③⑤【かぞえることのできない：數える事の出来ない—無法數的。】
-
- ③⑥【おわり：終わり—未了、結束、末日。】
 ③⑦【けつきよく：結局—總之。】
 ③⑧【あたえる：与える—給予、賜給。】

第一課 太陽

「好熱好熱！」邊說邊脫到一件襯衫的夏天過了之後，逐漸寒冷，草木的葉子枯落下來，家家戶戶點了火盆的火，或是起了火爐的火，包圍着我們的氣候有這麼樣的變化是因為地球不斷地繞着太陽的緣故——這時候，地球旋轉的軸心傾斜，所以大部份地方，陽光照射的角度有了變化，地球承受的熱量時有增減，像赤道地帶，陽光一年到頭垂直地照射地面的地方，始終只有熱而沒有氣候的變化；不過，像北極、南極一般，太陽光小角度照射地面的地方，始終非常寒冷，冬天，有繼續着幾個月的黑暗。

這道理是：正如圖示的一般，遠處來的陽光，大都可以看做平行線。這光線的一部份好像A—B一樣，光線照射垂直的面，或是照射A—B一般，斜面的時候，光線的分量相同。可是A—B¹面比較A—B面的面積廣大；因此A—B¹面各部份所受的熱量，比較A—B面各部份少多了。那A—B¹逐漸傾斜，越是和陽光接近平行，各部份所受的熱量越少。

在地球上，赤道地帶大體在A—B一般的位置，因此，成了熱帶，兩極好像A—B²一般的承受陽光，所以成了寒帶。赤道以外的地方，爲了地球的公轉，陽光的角度變化，氣候也跟着起了變化。地球的公轉運動，始終在一定的時間，正確地運行；因此，一年裡春、夏、秋，冬正確地循環着。

太陽這樣地對地球造成了熱帶、寒帶；起了四季的變化，非但如此，也蒸發地球上上面的水，造雲，下

雨、雪，引起高氣壓、低氣壓，和颶風等等。因此，假定沒有太陽了，那麼既沒有吹走帆船的風，水也都結了冰而不溶化，草木枯了，動物都無法生存。我們經常利用的煤炭，石油，瓦斯，電氣，追其根源，無不託太陽的福。人類自古以來，崇拜萬物生命之源的太陽，也並不是偶然的現象。

太陽是直徑有一百三十九萬公里，是個非常大的燃燒着的固體，表面包圍着有六千度高溫的氣體。受了這太陽的熱和光，地球上起了種種的變化。地球可受的熱量，是太陽整個不斷地放射的熱和光的僅僅二十億分之一——這不是值得驚奇嗎？。那麼，龐大的太陽，在我們的眼裡不過是看來約有月亮大小，這是它在離地球一億五千萬公里的非常之遠的地方，相當於到達月球的距離的約四百倍。

地球繞着太陽的周圍，月球繞着地球的周圍，由這三種位置的關係，陽光會受到地球、月球的阻礙。地球、月亮不是自己發光，而是受了陽光而反射的，地球一旦來到太陽和月亮之間，月球表面映上地球的影子，成了月蝕；同時，月亮來到太陽和地球之間，太陽被月球遮住，而成了日蝕。

原始人，未開化人，非常懼怕這日蝕、月蝕；可是，我們文明人，不但不怕這些事，相反地可以正確地預測：日蝕、月蝕發生在幾月幾日？

日蝕的時候，平常見不到的太陽周圍的樣子可以看得清楚，對於研究太陽，非常方便。於是，一有日蝕，好多天文學者爭相觀測。

太陽的創始，是在我們無法數到的遙遠的古代；同樣，太陽如果有末日，也是我們無法數到的，當然也在遙遠的將來。總之，我們人類生存着的期間，太陽會不斷地發出光輝，給予動植物生命和活動這是毫無疑問的。

（錄自少年少女科學理科學篇）

【新出漢字】

枯れる 軸 傾く 垂直 斜面 傾斜

位置 吹く 仮定 無い 石油 生命

与える 崇拜 直径 放つ 距離

妨げる 反射 競争 将来 光輝

理数科に關係のあることば

熱量 分量 重量 質量

光線 直線 曲線 垂線 放物線 平行線

面積 体積 容積

斜面 平面 水平面 球面 断面

直径 半径

一角 三角 四角 直角 同位角

【生字】

枯掉 軸心 傾斜 垂直 斜面 傾斜

位置 吹 假定 沒有 石油 生命

給予 崇拜 直径 放射 距離

妨礙 反射 競争 將來 光輝

有關數理科的語詞

熱量 分量 重量 質量

光線 直線 曲線 垂直線 拋物線 平行線

面積 體積 容積

斜面 平面 水平面 球面 断面

直径 半径

一角 三角 四角 直角 同角

角度 溫度 尺度

【問 題】

(一) 赤道地帶では氣候の變化がないのに、

それ以外の土地では氣候に變化が起
るのなぜか。

(二) 北極や南極がいつでも非常に寒い

のは、どんな理由によるのか。

(三) 日食・月食について説明せよ。

角度 溫度 尺度

【問 題】

(一) 爲什麼在赤道地方沒有氣候的變化，而
其他地方有了氣候的變化？

(二) 北極、南極經常嚴寒、理由何在？

(三) 就日蝕、月蝕說明一下。

第二課 お正月

日本の正月について①語るためには、どうしても②年の暮れから③始めなければならぬ。年の暮れは、一年間の整理と新年の準備でみんないそがしい④。なかでも⑤、商人は特⑥にいそがしい。それは一年間の決算⑦もしなければならぬし、正月用品⑧も売らなければならぬからである。また、昔ほど⑨盛んではないが一般⑩に、お歳暮⑪のやりとり⑫をする。お歳暮というのは、一年の終わりにその年内⑬にいろいろ世話⑭になった人に、お礼にする贈り物である。郵便局は、年賀郵便⑮の取り扱い⑯や贈答品⑰の小包⑱の取り扱いや、そのほか⑲、預金⑳や引き出し㉑事務でこったがえして㉒いる。十二月も二十日を過ぎると、かしや㉓では賃もち㉔の受け付け㉕を始める。昔は、もちは、それぞれ自分のうちでついた㉖ものであるが、今では都会では、ほとんどかしやでついてもらう㉗。また門には門松㉘がたてられる。これは松も竹も霜や雪に強く、松は冬になっても色がかわらないで青々としているし、竹は元気よくまっすぐ㉙に伸



びているからである。ことしも、一家の人々が強く、変わらね^②ようにという願いをこめて、かざる^③ようになったといわれる。民家の^③門ばかりでなく、商店の店頭にも門松がかざられる。また、家の修理がなされたり^③、新しい年を迎える気持が町々に満ちて^④いる。

また、このころ忘年会^⑤というものがある。これは一年じゅうの仕事が終わって、その年の疲れをなおし^⑥、新しく来る年もまたおたがい^⑦に元気にやろう^⑧と、会社^⑨の人たちや仲のよい人たちが集まる会である。

大みそか^⑩になっても、商人などはまだいそがしい。夕飯もすんで、家の内・外も掃き清められ、どうやら^⑪正月の用意も整えおわったころ、うちじゅうそろって^⑫そばを食べるならわし^⑬がある。いよいよ^⑭十二時少し前になると、日本全国いたるところ^⑮の寺では百八つのかねを鳴らす。かねの音に耳を傾けながら^⑯一秒ごとに過ぎて行く年



を思う。あやうど最後の一つをつきおわった④⑦時、新しい年を迎えるのだ。仏教では、人間には百八つのなやみがあるといっているが、このなやみをとりはらう④⑧ために百八つのかねをつくようになつたそうだ。

一眠り④⑨して夜が明ければ、⑤⑩もう元日⑤⑪の朝である。日の丸の旗や門松が初日⑤⑫に輝く。冷えきつた朝の空気にはく息⑤⑬も白い。

ラジオが元日の朝を告げる。見るもの、聞くもの、すべてがいつもとちがつて⑤⑭新しく美しく感じられる。人々の顔も歓喜にあふれて⑤⑮いる。郵便屋さんが年賀状を配達して来る。会う人ごと⑤⑯に、「新年あめでとうございます。」というあいさつ⑤⑰が交換される。老人は孫に手を引かれながら宮参りをする。

人々はみなでできるだけ⑤⑱きれいな洋服や着物を着る。女の子は特別にかわいい。ふだんは洋服を着ている若い女も、お正月にはたいいてい美しい着物を着る。女の子や若い女がきれいな着物を着て、ちようちよう⑤⑲のように長い美しいものと⑤⑳をふりながら㉑、



羽根^{はね}⑥をつく様子は、ほんとうに絵のようだ。快^{こころよ}い⑥羽根の音にまじって⑥、にぎやかな笑い声^{こゑ}がひびく。男の子はた⑥をあげる⑥。ふだんは商売に目の回る⑥ようにいそがしい商人も、元日^{がんじつ}だけは金銭から離れて、一日店をしめる⑥。どの家庭でも、年の暮れに主婦が心をこめて⑥作っておいしいいちさそう⑦を食べたり、お雑煮⑦を食べたりする。また、晩にはかるた⑦をとったりする。

正月を祝^{いわ}って、役所や会社などは四日から仕事を始める。

正月は、日本人にとっては最も楽しい時であり、また重要な時である。日本人は新しい年を迎えるたびに精神を新たにし、勇ましく一年を歩みはじめる⑦のである。

【註 釋】

①【ついて：就いて—關於。】

②【どうしても：如何しても—無論怎麼也得……。】

③【としのくれ：年の暮れ—年末、年底、年關。】
④【いそがしい：忙しい—忙碌。】

